

2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月5日

上場会社名 フュージョン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 3977 URL <https://www.fusion.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当専務取締役 (氏名) 安田 真 TEL 011-271-8055
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の業績 (2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	307	8.6	3	—	2	—	2	—
2019年2月期第1四半期	283	5.1	△1	—	△1	—	△1	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	3.19	—
2019年2月期第1四半期	△1.63	—

(注) 2019年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2020年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	572	228	39.8
2019年2月期	577	225	39.1

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 228百万円 2019年2月期 225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	617	4.3	△11	—	△12	—	△13	—	△19.11
通期	1,330	10.8	12	484.3	9	811.9	7	—	9.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年2月期1 Q	720,000株	2019年2月期	720,000株
----------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2020年2月期1 Q	一株	2019年2月期	一株
----------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年2月期1 Q	720,000株	2019年2月期1 Q	720,000株
----------------	----------	----------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、堅実な企業業績を背景に、緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら、米中の通商摩擦や消費税の引き上げによる景気悪化懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

当社が属するダイレクトマーケティング市場におきましては、政府が発表している未来投資戦略2018において、「Society 5.0 (ソサエティ5.0)」「データ駆動型社会」の実現に向けて具体策が提示されており、人間中心の快適な社会のあり方として「必要なモノやサービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供」されるスマートな消費の姿が提唱されております。この考え方は、まさしく「戦略と戦術の両方をサポートし、企業と生活者との距離を縮めるトップダイレクトマーケティングエージェンシーの実現」を経営理念とする当社の事業ドメインと合致するところであります。実際にクライアント企業の業種や規模を問わず販売履歴データ等の利活用のニーズは増加しており、データ分析に基づくダイレクトマーケティングの市場は成長を続けるものと予想されます。

このような事業環境の中、当社は新規クライアント企業の開拓、既存クライアント企業への新規サービス提案、AI (人工知能) を活用したサービス開発とマーケティング支援の高度化などに取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は307,640千円(前年同期比8.6%増)、営業利益は3,479千円(前年同期は営業損失1,013千円)、経常利益は2,849千円(前年同期は経常損失1,253千円)、四半期純利益は2,293千円(前年同期は四半期純損失1,172千円)となりました。

当社は、単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。
サービス別の状況は次のとおりであります。

①マーケティングリサーチ

マーケティングリサーチについては、継続受注案件に加え、スポットの調査・分析案件、コンサルティング案件などの獲得があり、売上は順調に推移いたしました。この結果、売上高は45,209千円(前年同期比85.4%増)となりました。

②マーケティングシステム

マーケティングシステムについては、安定した顧客基盤を確保しているものの、前事業年度の期中において一部の運用サポート業務案件が契約終了したことや大きなスポット案件の受注がなかったことが影響し、売上は低調に推移いたしました。この結果、売上高は97,208千円(前年同期比20.4%減)となりました。

③ダイレクトプロモーション

ダイレクトプロモーションについては、既存重点クライアント企業から大型のDM案件等を継続受注していることに加え、新規クライアント企業からもDM案件、ブランドサイト制作案件などを受注したことにより、売上は順調に推移いたしました。この結果、売上高は165,223千円(前年同期比20.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は572,704千円となり、前事業年度末に比べ5,258千円減少いたしました。これは主に売掛金が23,904千円増加した一方で、現金及び預金が28,224千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は344,160千円となり、前事業年度末に比べ7,963千円減少いたしました。これは主に未払消費税等が6,948千円増加した一方で、長期借入金が16,533千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は228,543千円となり、前事業年度末に比べ2,705千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2,293千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月5日付「2019年2月期 決算短信」において公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	228,588	200,364
受取手形	959	—
売掛金	117,545	141,449
仕掛品	12,134	13,400
未収還付法人税等	7,991	7,991
その他	25,568	25,392
流動資産合計	392,788	388,597
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	93,487	92,258
土地	40,873	40,873
その他(純額)	19,570	17,476
有形固定資産合計	153,930	150,608
無形固定資産	2,912	5,167
投資その他の資産	28,330	28,330
固定資産合計	185,174	184,106
資産合計	577,962	572,704

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,897	79,535
1年内返済予定の長期借入金	66,132	65,299
リース債務	2,719	1,361
未払法人税等	1,786	2,228
賞与引当金	—	2,592
その他	29,467	38,056
流動負債合計	181,003	189,073
固定負債		
長期借入金	148,378	132,678
繰延税金負債	5,267	4,903
資産除去債務	17,475	17,505
固定負債合計	171,121	155,087
負債合計	352,124	344,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,928	212,928
資本剰余金	62,928	62,928
利益剰余金	△50,017	△47,724
株主資本合計	225,838	228,131
新株予約権	—	411
純資産合計	225,838	228,543
負債純資産合計	577,962	572,704

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	283,314	307,640
売上原価	164,312	183,091
売上総利益	119,002	124,548
販売費及び一般管理費	120,016	121,069
営業利益又は営業損失(△)	△1,013	3,479
営業外収益		
受取手数料	116	100
その他	19	19
営業外収益合計	135	119
営業外費用		
支払利息	209	323
減価償却費	—	422
寄付金	162	—
その他	2	2
営業外費用合計	375	749
経常利益又は経常損失(△)	△1,253	2,849
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,253	2,849
法人税、住民税及び事業税	250	920
法人税等調整額	△331	△364
法人税等合計	△81	556
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,172	2,293

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。